

「ふるさと春日井学」研究フォーラム

Forum for Furusato Kasugai Studies

「ふるさと春日井」地域活性化・まちづくりへの応援

メッセージ

会報

NO. 7

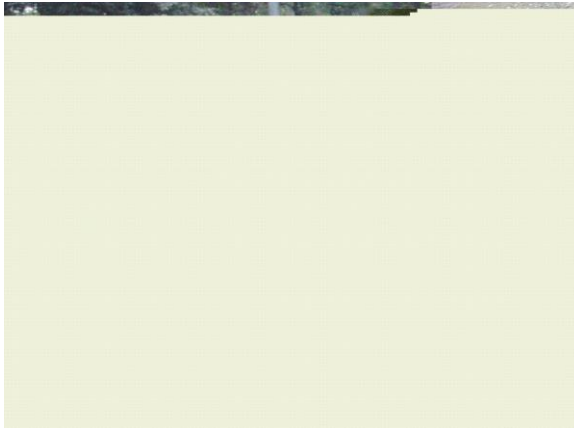
2013. 9.1発行

Kawachi-k@mb.ccnw.ne.jp

「小野道風の源流を訪ねる」！

8月28日（水）「書のまち春日井」のシンボル小野道風をより深く知るという目的で、「小野道風の源流を訪ねる ～湖西の小野三社・延暦寺・三井寺～」をバスツアーした。参加者は34名。45名乗りの大型バスでのゆったりした研修の旅となった。

バスの車中、「ツアー葉」を元に、河地会長、塚田副会長より、道風の生きた時代背景、出生に纏わる数々のエピソード記憶、伝承の解説を聞き予備知識を頭に入れて現地へ向かった。小野篁神社、小野神社、小野道風神社、の順に氏子総代大道二三男氏より、よく研究された資料を元に解説を聞いた。つい先日までの茹だるような猛暑とはうって変わって秋晴れの爽やかな天気と神社の杉木立から吹く風も冷気を感じる気持ちのいい日であった。



小野神社前にてツアー参加者集合写真



中日新聞の報道記事

小野篁神社・小野神社への参道入り口で迎えてくださったのは氏子総代の大道(だいどう)二三男さんと、地元で奉仕する和田義徳さん(元日光二荒神社の神主など)のお二人。

大道さんに作っていただいた資料は①『古代小野氏の人々』、②『同別紙 A・B』(篁卿の御歌と小野小町の答歌)、「古代小野氏のひとびと、資料」として③宝賀寿男『古代氏族系譜集成』による小野氏系図、④『新撰姓氏録』(第三巻 左京皇別下による小野妹子の記述部分、⑤『小野毛人墓誌』拓本(左京区上高野崇道神社裏山の墳墓より出土)、⑥『和邇地域と古代豪族和邇について』(遣隋使小野妹子ふるさとの和邇、資料に『ワニ氏の基礎的研究』(岸俊男著)よりワニ氏の分布)、⑦『養(しとぎ)について』の7枚。これをもとに説明をいただいた。

下車したのは小野神社前。参道の先は正面に小野篁神社が鎮座し、その左に小野神社が鎮座する。下車した右手は小野山天台宗の上品寺(じょうぼんじ、開基は小野篁 847 年)でその角に「小野神社」の碑、その前に「右北国海道」の道標と常夜燈が建つ。参道は寺の白壁塀に沿い続く。鳥居の左に餅祖神参拝記念碑が建つ。関西の菓子組合が参拝した記念碑で、この小野神社が米餅搗大使主命(たがねつきおほおみのみこと)を祀ることを示している。鳥居をくぐって左手に神田があり、稲が緑を濃くしていた。収穫した餅米で「しとぎ(糎)」が作られる。

普段は無人で扉の閉まった社務所は戸が開けられていた。その向えに建てられた小野篁の歌碑「参議篁 わたの原八十島 かけて漕ぎ出でぬ と人には告げよ海人 のつり舟」(百人一首十一番)の説明を頂いた。和歌山県の近藤清一氏の寄贈によるもので、芸術院会員の日比野光鳳の書によるもの。「大海原に隠岐島へ漕ぎ出るが、私は晴天潔白であるから漁師の釣り舟の如く悠然として身も心も達者である」との意味。

続いて小町塚(供養塔)の前で小野小町 15 歳の時に作った答歌「おきおいて みをやくよりも わびしきは みやこでしまの わかれなりけり」(燠火で身を焼くように悲しく、侘しく、不安であるのは都と島との別れです)の歌、「花の色は うつりにけりな いたずらに わが身世にふる なかめせしまに」の歌の解説をいただいた。掛詞の解釈がこの歌の妙。小町は系図では篁の孫とされるが年齢から娘とする説もある。生没は 826~900 年頃といわれるが不明。小野道風は 894 年生まれで、小町と同時代をほんの少し重ねていることになる。

この後、小野篁神社と社殿を小野神社の社殿を拝観。小野神社は祭神二神、即ち、小野妹子の先祖天足彦国命と米餅搗大使主命で、妹子が祀ったと伝えられる。菓子の始祖として 10 月 20 日に「しとぎ大祭」、11 月 2 日には「しとぎ祭」が行われる。バスで小野道風神社口まで移動。道風社前での説明の折、大道さんが「しとぎ」を見せて、餅といっても生のまま木臼で搗きかためたもので、包んだ藁に火を付けて焼いて食べると教えてくださった。パンフレットには食べ方までは書かれていない。小野道風神社の駐車場・広場から南に約 500m に小野妹子神社のある唐臼古墳が見えた。「外交・華道の神」とされ。8 月 4 日には大祭が執り行われた。大道さんはここの氏子総代もされている。大道二三男さんは同行された和田義徳さんが紹介して下さったが、氏子総代(3 名)は 3 年任期で今年が最後の年だそうだ。良い方に恵まれたと出会いに感謝する。この後、比叡山延暦寺根本中堂と総本山三井寺を参拝。三井寺は宗祖智証大師生誕 1200 年記念の年にあたった。この二つの寺は小野道風の孫である天台座主明尊ゆかりの地として参拝をしたもの。明尊の「三日座主」の思いを感じていただいたでしょうか。(記録：河地 清・塚田忠雄)

※事務局：〒486-0825 春日井市中央通り 2-9 TEL・FAX0568-82-5973 河地 清

かすがい市民活動情報サイト：<http://kasugai.genki365.net/>

ふるさと春日井学 検 索